



2024 洞峰学園 つくば市立谷田部東中学校 グランドデザイン



【洞峰学園教育目標】
夢や希望をもち、未来に向かってたくましく生きる児童・生徒の育成
～「学びをつなぐ」×「人をつなぐ」小中一貫教育を通して～

＜本県教育目標＞
ひとりひとりの能力を開発
豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
郷土を愛し、
協力しあう心を育てる

【学校教育目標】
志をもち、心豊かにたくましく生きる生徒の育成
～未来を志向し、「夢の実現」に向けた小中一貫教育を通して～

**＜つくば市の目指す
学園・学校像**
みんなが幸せを実感
できる学園・学校
～自己実現できる学校・
みんなで支え合い、みんな
が生き生きとした学校～

【学校経営の方針】
共に学び、共に磨き、共に鍛え、共に育つ学校づくり
～非認知能力の育成を通して～

学校像
○生徒が「夢」に向かって輝く学校
○教師が「やりがい」をもてる学校
○保護者や地域から「信頼」される学校

生徒像 【立志・共創・躍動】
◎自分の夢や可能性に意欲的に挑む生徒
◎心豊かに誠実に行動し、共に未来を創造できる生徒
◎健康で活力に満ち、いきいきと活動する生徒

教師像
○熱意と愛情をもち生徒に寄り添う教師
○指導力と実践力のある教師
○未来を見つめ、改革意欲のある教師

◆保護者・地域の期待 ◆生徒の願い
○安全・安心
○学力向上
○落ち着いた学校生活
○進路実現
○地域貢献
○充実した学校生活
○分かる授業
○学びたくなる授業
○心を許せる仲間
○居場所のある学級
○心を許せる仲間

組織目標
○未来を志向し、「能動的な学び」の具現化を図る授業づくり
○一人一人が「自己決定」し、夢の実現に挑める集団づくり

2024教育の重点
◎「対話」を核とした教育活動
◎「谷東ログ」を活用した非認知能力の育成
～自分と向き合い、他者とつながり、自分を高める～

【スクール スローガン】
輝く未来 きらめく明日への挑戦
Active 谷東!

「未来型学力」プロジェクト

【重点目標】
* 「能動的な学び」への具現化を図る授業づくり
◆ 探究的・協働的な学びの実現に向けた授業づくり
・ 知的好奇心を高める課題の工夫
・ インプット ⇒ 協働 ⇒ アウトプット ⇒ 振り返り を重視した PBL 学習の充実
・ 社会を意識する探究タイム（特設学習）
・ 地域資源を活用した魅力ある授業
◆ ICT 教育の推進
・ 思考を広げるための ICT の利活用
◆ つくばスタイル科を核とした教科横断型の学習や STEAM 教育の推進
◆ 「教育支援計画」を活用した「切れ目のない」特別支援教育の充実

【数値目標◎80%以上○70%以上】
◎進んで授業に取り組み、自分の考えをもつ
◎友達との学び合いを課題解決に生かす
○授業で「アウトプット」を大切にしている

「豊かさ・しなやかさ」プロジェクト

【重点目標】
* 互いを尊重し合える人間関係の醸成
* 「自己決定」できる集団づくり
◆ 9年間のつながりを意識した教育活動
・ 「夢を実現」する系統的なキャリア教育
◆ 自治能力の育成を目指す生徒会活動
・ 「R 研修会」を核とした自治的行事
・ 有志による生徒会活動「輝き隊」
・ いじめゼロフォーラムの実施
◆ 柔軟な指導体制による道徳教育
◆ 共に創り上げる話し合い活動の充実
◆ 外部人材を活用した体験活動
◆ 5つの行動目標を生かした自主性・自律性の育成
◆ 「折れない心」の育成と組織を活かした教育相談体制の確立

【数値目標◎80%以上○70%以上】
○「夢の実現」に挑もうとしている
○自分には良いところがあると思う
◎相手の気持ちを考えて行動できる

「たくましさ」プロジェクト

【重点目標】
* 健康で安全な生活を送る体力づくり
* 安全・安心な環境づくり
◆ 体力向上プログラムの実施
・ 目的意識を持たせた体育の授業、部活動の充実
◆ 地域と学校の協働による文化・スポーツ活動（DCAA）
◆ 外部人材や家庭と連携した健康教育プログラムの充実
◆ 系統的な自己管理能力の育成
◆ 危機意識に基づくコロナ感染症対策
◆ 事故の未然防止と組織での迅速な初期対応
◆ 保護者・地域と連携した防災教育、安全教育、情報モラル教育等の充実

【数値目標◎80%以上△60%以上】
◎自分の健康や安全を考えて行動できる
◎心身ともに成長していると思う
△体力テスト A+B

地域とともにある学校づくり

□地域とともに歩む学校づくり
・ 地域、保護者との協働体制の構築（CS の導入）
・ 積極的な情報発信と学校評価の活用
・ 外部人材を活用した補充学習
□大学・研究機関・企業との連携

RPDCA

学校評価

□教職員の資質・能力の向上
「与えられる研修」⇒「求める研修」へ
・ 「学び連続性」を保障する学園研修
・ 業務の効率化を図る学校のデジタル化
・ 教員評価を生かした資質・能力の向上

働き方改革の推進
【数値目標】超過勤務45時間/月以内～キャップ・カット・効率化～
・ 部活動地域連携事業 ・ 末尾1hの有給休暇 ・ 日課の工夫

コンプライアンス意識の醸成
【数値目標】不祥事「ゼロ」～自分たちの職場から不祥事を出さない～
・ 当事者意識を高める研修 ・ 教員評価の活用 ・ 組織的な相談体制